

その時を待つ

待降節

いよいよ待降節に入ります。今日から教会のこよ

みは新しい年になります。それなのに、今日の福音は

世の終わりについて述べています。これは人々が救い

主を待ち望んでいたように、キリスト者もイエス・キ

リストの再臨を待ち望んでいるからです。待降節はイ

エス・キリストの誕生を待つ季節ですが、現代のキ

リスト者にとっては、同時にイエス・キリストの再臨

を待つ季節でもあります。

でも、私たちは何を期待して待っているのですよ

うか。イエス・キリストが現代社会の諸問題をすべて

解決してくれることを期待して待っているのですよ

うか。イエス・キリストが私たちの期待に答えない

ことはすでにあきらかです。それなら、この待降節の

間に何をすればいいのでしょうか。

その時

イエスは、「その時は、だれも知らない。気をつけ

て、目を覚ましていなさい」と私たちに呼びかけま

す。イエスの時代の人々のように、その時が、いつ、
どのようにして来るかを心配し、考えることに時間
と労力を使うよりも、今どうするかが大切なのです。
「待つ」ことは、決して消極的な行動ではありません。
ただ、誰かが何かをしてくれることを待つ
のではなく、自分もできるだけのことをして待つことが
大切です。

「目を覚ます」ことは、自分たちの現状をよく見
ることで、自分たちの回りでのどのようなことが起
っているか。それは福音に照らして、ふさわしいこと

か、ふさわしくないことか。自分たちにできることは
何かを考え実行してみましよう。

自分はどうなことができそうか書いて下さい。

